

令和5年度 助産学科看護学一般試験問題 (8-1)

[問題1] Aさんは現在妊娠16週4日である。5年前に妊娠21週で流産を経験し、3年前に妊娠34週で双胎を経膣分娩した。今回の妊娠回数、分娩回数の数え方の表現で適切なのはどれか。

1. 2妊2産
2. 2妊3産
3. 3妊1産
4. 3妊2産
5. 3妊3産

[問題2] 正常な経過をたどる妊婦の体の変化について正しいのはどれか。

1. 酸素消費量が約20%増加する。
2. 収縮期血圧、拡張期血圧ともに軽度上昇する。
3. 心拍出量は妊娠37～40週に増加のピークを迎える。
4. 腎血漿流量は妊娠中期から末期にかけて25～50%増加する。

[問題3] 妊娠中のマイナートラブルとその原因の組合せで誤っているのはどれか。

1. 浮腫 ————— リラキシン
2. 腰背部痛 ——— エストロゲン
3. 便秘 ————— プロゲステロン
4. つわり ————— ヒト絨毛性ゴナドトロピン (hCG)

[問題4] 分娩予定日の算出方法について誤っているのはどれか。

1. 一般的には最終月経の初日に280日を加える。
2. 体外授精では胚移植施行日に280日を加える。
3. 基礎体温では低温期の最終日に266日を加える。
4. ネーゲレの概算法では最終月経の初日に7日を加え、月から3を引くか9を加える。

[問題5] Aさん(35歳、初産婦)、妊婦健診の経過を下の表に示す。

妊娠週数	血圧	尿蛋白	尿糖	浮腫
16週5日	144/82	±	—	—
20週5日	146/80	+	—	—
22週5日	148/90	+	—	±

22週5日時点の診断として正しいのはどれか。

1. 妊娠高血圧
2. 妊娠高血圧腎症
3. 高血圧合併妊娠
4. 加重型妊娠高血圧腎症

令和5年度 助産学科看護学一般試験問題 (8-2)

次の文章を読み、[問題6] [問題7] に答えなさい。

Aさん (28歳、初産婦)。妊娠8週、妊婦健康診査のため来院した。身長155cm、体重45kg (非妊時体重50kg)。尿ケトン体陽性。頻回の嘔吐、食事・水分摂取不良のため入院となった。

[問題6] Aさんの非妊時BMIと体格区分の組合せで正しいのはどれか。

1. BMI 21.2 ————— 普通体重
2. BMI 20.8 ————— 普通体重
3. BMI 18.7 ————— 低体重 (やせ)
4. BMI 18.3 ————— 低体重 (やせ)

[問題7] この時点のAさんの食事療法について誤っているのはどれか。

1. 食後30分は安静にする。
2. 温かい物、においの少ない物、消化のよい食事にする。
3. 炭水化物と低脂肪食を中心に食べたい物を少しずつ摂取する。
4. 空腹や低血糖は悪心を誘発するので適宜食べられる物を摂取する。

[問題8] 分娩開始後に分娩進行を判断する情報はどれか。下記のア～オから選べ。

1. 産痛部位
2. 子宮頸管開大
3. 粘稠性血性分泌物
4. 胎児心拍最良聴取部位

ア: 1.3.4 イ: 1.2 ウ: 2.3 エ: 4のみ オ: 1~4の全て

[問題9] 初産婦の分娩経過で正常分娩と判断できるのはどれか。下記のア～オから選べ。

1. 妊娠41週0日の分娩
2. 分娩所要時間28時間
3. 分娩時出血量700mL
4. 子宮口8cm開大時の陣痛1分周期

ア: 1.3.4 イ: 1.2 ウ: 2.3 エ: 4のみ オ: 1~4の全て

[問題10] 分娩期異常の説明で正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい。

1. 前置胎盤の診断には内診が用いられる。
2. 臍帯脱出は予定帝王切開の適応である。
3. 変動一過性徐脈の原因は児頭圧迫である。
4. SI(ショックインデックス) 1は出血量1,500mlと推測される。
5. 低在横定位は骨盤底に達した児頭の矢状縫合が縦径に一致している。

[問題11] 帝王切開後24時間までの看護で正しいのはどれか。下記のア～オから選べ。

1. 術後4時間経過したので飲水を促す。
2. 感染予防のため悪露交換やシャワー浴を行う。
3. 術後の創部痛、後陣痛があるので児との接触はできない。
4. 児は一過性多呼吸の症状を呈する場合があるので呼吸の観察を密にする。

ア: 1.3.4 イ: 1.2 ウ: 2.3 エ: 4のみ オ: 1~4の全て

令和5年度 助産学科看護学一般試験問題 (8-3)

[問題12] 分娩第1期の基本的欲求を満たす看護として正しいのはどれか。下記のア～オから選べ。

1. 自由な活動は子宮口開大3cmまでとする。
2. 浣腸は分娩の進行を促すために入院時に全例行う。
3. 食事は産婦が食欲がなくなるので勧める必要はない。
4. 「不安-痛み-緊張症候群」はリラックスによって緩和される。

ア:1.3.4 イ:1.2 ウ:2.3 エ:4のみ オ:1~4の全て

[問題13] 30歳、初産婦。妊娠39週5日。妊婦健康診査の時、「昨夜10分毎の陣痛が3時間続いた。朝6時にお腹の張りで目が覚めた。2時間前から10~12分ごとに収縮している」という。

内診所見は、子宮口2cm開大、展退度80%、児頭下降度-3、子宮頸管の硬度は軟、子宮口の位置は中央であった。膣分泌物は白色である。

この時の判断で正しいのはどれか。

1. 産徴がある。
2. 前駆陣痛である。
3. 原発性微弱陣痛である。
4. 子宮頸管は成熟している。

[問題14] 23歳、初産婦。妊娠40週4日。前日20時に陣痛発来で入院した。23時に排尿があったが、その後尿意がなく排尿はみられない。最後の排便は2日前であった。現在7時で、内診所見は、子宮口8cm、展退度100%、児頭下降度±0、胎胞を触れた。胎児心拍数陣痛図で陣痛間歇3~4分、陣痛発作40~50秒。陣痛発作時には顔をしかめて辛そうであり、前日の夜からほとんど眠れていない。

この時点の援助で最も適切なのはどれか。

1. 努責を促す。
2. 室内歩行を促す。
3. 炭酸飲料を勧める。
4. トイレでの排尿を促す。
5. グリセリン浣腸を実施する。

[問題15] 産後の全身の変化について誤っているのはどれか。

1. 呼吸は胸式から胸腹式になる。
2. 産褥早期には一時的に尿量が増加する。
3. 子宮は産褥2週間で非妊時の大きさに戻る。
4. 循環血液量は産褥2~3週で非妊時の値に低下する。

[問題16] エジンバラ産後うつ病調査票について正しいのはどれか。

1. 質問項目は15項目である。
2. 産後うつ病の確定診断に用いる。
3. 過去2週間の精神状態について回答してもらう。
4. 日本では9点以上で産後うつ病の可能性が高いとされている。

令和5年度 助産学科看護学一般試験問題 (8-4)

[問題 17] 子宮復古不全の原因はどれか。下記のア～オから選べ。

1. 子宮筋腫
2. 羊水過少
3. 子宮内感染
4. 膀胱・直腸の充満

ア : 1.3.4 イ : 1.2 ウ : 2.3 エ : 4のみ オ : 1~4の全て

[問題 18] 産褥経過に合わせた活動内容を下の表に示す。A～E に該当するものを選択肢群ア～オから選べ。

産褥経過	活動内容
分娩後 2 時間まで	子宮収縮不全や大出血が生じやすいため、安静臥床を保つ。
分娩後 2 時間以降	心身の状態に合わせて活動を拡大する。
産褥 2 週まで	A
産褥 3 週	B
産褥 4 週	C
産褥 6～8 週以降	D
【選択肢群】	ア：非妊時の生活に戻る。 イ：(就労者の場合)職場に復帰する。 ウ：買い物などの外出や家事を始める。 エ：自分の身の回りのことや児の世話をを行い、すぐに横になれる環境を作る。

[問題 19] 乳汁分泌の機序について (①) ～ (④) に適切な語句を書きなさい。 ※②③は順不同
 妊娠中は (①) の血中濃度が増加するが、同時に胎盤において産生される (②) と (③) が (①) の作用を抑制している。胎盤が排出されると、(②) と (③) が血中より急速に消失し (①) の作用が強化され、乳汁産生が促進される。乳児の吸啜刺激により下垂体 (④) より (⑤) が分泌される。(⑤) は乳腺細胞・細乳管の筋上皮細胞を収縮させる作用があり、その結果、射乳がおこる。

[問題 20] うっ滞性乳腺炎の看護で誤っているのはどれか。

1. 抗菌薬の投与
2. 授乳後の搾乳
3. 積極的な哺乳
4. 乳房・乳頭のマッサージ

[問題 21] A さん (36 歳、初産婦)。妊娠 40 週 2 日で 3100 g の女児を経膈分娩した。産褥 1 日目から母児同室となり、産褥 4 日目の朝、「なぜだか泣きたい気持ちになる。赤ちゃんにかかりきりで、ゆっくりできる時間がありません。明日の退院は嬉しいけれど、退院後一人で育児ができるか不安。」と涙ぐむ。付き添っていた夫は「妻はこんな状況で退院しても大丈夫でしょうか。」と不安な様子である。

この時の対応として適切なのはどれか。下記のア～オから選べ。

1. A さんの気持ちを十分に聞く。
2. 児の育児技術について再指導を行う。
3. 夫に対してサポートに対する情報提供を行う。
4. 昼寝などの休息を十分とれるよう環境を調整する。

ア : 1.3.4 イ : 1.2 ウ : 2.3 エ : 4のみ オ : 1~4の全て

令和5年度 助産学科看護学一般試験問題 (8-5)

[問題 22] 新生児蘇生のアルゴリズムで出生直後のチェックポイントでないのはどれか。

1. 早産児
2. 心拍数低下
3. 筋緊張低下
4. 弱い呼吸・啼泣

[問題 23] 早期新生児の便の性状を下に示す。1～5のうち正常を逸脱している可能性があるのはどれか。



[問題 24] 出生体重の分類について () 内に数字を入れ文章を完成させさない。

1. () g 未満の児を極低出生体重児という。
2. () g 未満の児を超低出生体重児という。
3. () g 未満の児を低出生体重児という。
4. () g 以上の児を巨大児という。
5. () パーセントイル未満の児を light-for-dates 児 (LFD 児) とよぶ。
6. () パーセントイル以上の児を heavy-for-dates 児 (HFD 児) とよぶ。

[問題 25] 出生前診断について適切なのはどれか。

1. 治療不可能な診断結果は伝えない。
2. 超音波検査に妊婦の承諾は必要ない。
3. 診断された染色体異常は治療可能である。
4. 胎児異常を理由に人工妊娠中絶はできない。
5. ほとんどの先天性疾患は診断することができる。

[問題 26] 妊婦が初期に感染すると児に白内障、緑内障、先天性心疾患、感音性難聴が生じる可能性があるのはどれか。

1. 水痘
2. 風疹
3. 単純ヘルペス
4. トキソプラズマ
5. ヒトパルボウイルス B19

令和5年度 助産学科看護学一般試験問題 (8-6)

次の文章を読み[問題27] [問題28] に答えなさい。

20歳女性。既婚。血液型：O型 Rh (+) 腹痛を訴え救急外来受診。超音波検査で妊娠が判明し、2時間後に女児を出産した。妊娠中に一度も病院を受診していない。在胎週数不明。頭位、正常分娩。羊水混濁なし、胎盤の異常所見なし。出生時体重2,974g、身長50cm、頭囲32.8cm、胸囲31.0cm、外表奇形なし、モロー反射左右対称、吸啜反射、探索反射みられる。夫31歳会社員、血液型：A型 Rh (+)

[問題27] 出生児の成熟度評価に用いられるのはどれか。

1. アプガースコア
2. ビショップスコア
3. シルバーマンスコア
4. デュボヴィッツスコア
5. バイオフィジカルプロファイルスコア

[問題28] 生後3日目、体重2,682g。皮膚の黄染が顔から大腿まで見られる。経皮ビリルビン値13.4。児の覚醒状態は沐浴や空腹時には啼泣するが、それ以外はState2またはState3である。直接授乳8回/日、哺乳力は良好。直接授乳後はミルクを飲みながら入眠する。体温36.7℃、心拍数130回/分、呼吸数40回/分、排尿6回/日、排便2回/日(緑黄色)。左後頭部に波動性の腫瘍を触れる。

生後3日目の児のアセスメントで適切なのはどれか。

1. 直接授乳の回数が少ない。
2. 左後頭部に頭血腫が認められる。
3. 心拍数が正常範囲を逸脱している。
4. 黄疸が生理的範囲を逸脱している。
5. 体重減少が生理的範囲を逸脱している。

[問題29] 乳児の身体生理について正しいのはどれか。

1. 呼吸の型は胸式呼吸である。
2. 大泉門は1歳までに閉鎖する。
3. 乳歯は生後6~8か月ごろからはえ始める。
4. モロー反射は生後6か月ごろまでみられる。

[問題30] 離乳食について正しいのはどれか。

1. 6か月以降は離乳期幼児期用粉乳を用いる。
2. 甘味には砂糖ではなくはちみつを使用する。
3. 開始時期は生後5~6か月ごろが適当である。
4. 生後7~8か月ごろには歯ぐきでつぶせるかたさのものを与える。

[問題31] 月経前症候群について正しいのはどれか。下記のア~オから選べ。

1. 月経開始とともに症状は軽快する。
2. 月経開始後の3~7日間に身体的症状がある。
3. 症状には食欲不振、乳房痛、精神不穏が認められる。
4. 比較的軽症の患者にはカウンセリング、生活指導が有効である。

ア：1.3.4 イ：1.2 ウ：2.3 エ：4のみ オ：1~4の全て

令和5年度 助産学科看護学一般試験問題 (8-7)

[問題 32] 50歳、女性。顔のほてり、不眠を主訴に産婦人科を受診した。「最近体力がなく仕事の限界を感じる。このまま老いていくのかと思うと夜も眠れない。昼間に眠くなることもあるが、家族が起きているのに自分だけ寝るわけにはいかないし。」と訴えられた。

この時の看護者の対応で正しいのはどれか。下記のア～オから選べ。

1. 症状に対する思いや生活状況、家族との関係性について把握する。
2. 同じ悩みをもつ身近な女性に自分の思いを話すことを提案する。
3. 女性が育った環境や、持っている知識、情報、価値観も影響していることを踏まえる。
4. 家族に合わせて自分を抑えすぎず自分を大事にすることが家族のためになると考え方の変換を図る。

ア：1.3.4 イ：1.2 ウ：2.3 エ：4のみ オ：1～4の全て

[問題 33] 母子保健法で規定されているのはどれか。

1. 産前産後の休業
2. 育児休業の申出
3. 受胎調節の実地指導
4. 母子健康手帳の交付
5. 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）

[問題 34] 1980年、1990年、2005年、2018年の妊娠期間別出生割合の推移を表に示す。2018年に該当するのはどれか。ア～エから選べ。

	ア	イ	ウ	エ
早期産	4.5	5.7	4.1	5.6
正期産	93.8	93.7	91.5	94.2
過期産	1.7	0.6	4.4	0.2

[問題 35] 次の文で正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい。

1. 死産とは妊娠満12週以後の死児の出産のことである。
2. 周産期死亡とは妊娠12週以後の死産と早期新生児死亡のことをいう。
3. 合計特殊出生率とは女性が一生のうちに産む子どもの数を反映している。
4. 出生率とは人口1万人当たり1年間に何人生まれたかを示すものである。
5. 妊産婦死亡とは妊娠中または妊娠終了後満42日未満の女性の死亡をいう。

[問題 36] 外国人の在留管理制度について正しいのはどれか。

1. 不法滞在者には入院助産は適用されない。
2. 生活保護は在留資格をもつ者に適用される。
3. 1か月をこえる在留資格があり市区町村に届出をした外国人は国民健康保険の対象となる。
4. 在留資格を得て入国した外国人は住居を定めて21日以内に市区町村に届け出なければならない。

[問題 37] 感染防止のための標準予防策について正しいのはどれか。

1. 普通石鹸と逆性石鹸は併用することで消毒効果が高まる。
2. 個人防護用具（PPE）を外す際はガウン→手袋→マスクの順に行う。
3. 普通石鹸と逆性石鹸では逆性石鹸の方が殺菌効果は強いが洗浄効果は弱い。
4. 手袋は手首の部分がめくられて肌が露出しないようにガウンの袖口は手袋の外側にする。

令和5年度 助産学科看護学一般試験問題 (8-8)

[問題38] 国際連合(UN)で採択された2016年から2030年までの開発に関する世界的な取り組みはどれか。

1. 政府開発援助(ODA)
2. プライマリヘルスケア
3. 持続可能な開発目標(SDGs)
4. ミレニアム開発目標(MDGs)

[問題39] 鉄欠乏性貧血の主要な症状で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 黄疸
2. 動悸
3. 吐き気
4. 歩行障害
5. さじ状爪

[問題40] Aさん(16歳、女性)の母親は過干渉で、Aさんが反論すると厳しい口調でいつまでもAさんを批判し続けるため、Aさんは母親との関係に悩んできた。その母親と同年代で体格が似ている担当看護師に対し、Aさんは常に反抗的な態度をとり、強い拒絶を示している。

Aさんにみられるのはどれか。

1. 否認
2. 投影
3. 逆転移
4. 反動形成
5. 陰性転移